草を生やしておくんなまし。

工場長

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト
http://pdfnovels.net/

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。
この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
草を生やしておくんなまし。

【Nコード】
N9618X

【作者名】
工場長

【あらすじ】
自然物を色々操れたらいいな、そんな思いを込めて、この物語をお送りします。
『物質変換師』として、これから色んな事件に巻き込まれる（予定）の主人公、『リステル＝カベルネ』という女の子
基本、コメディテイストでお送りします、よろしくお願いします
ちなみに、元になったのは、ワタクシが眠っている時に見た夢です。

プロローグ

「お待たせしました、これが貴方の身分証明書です。ちゃんと肌身離さず持っていてくださいね。」

Yシャツ姿の男性に、出来立てホヤホヤの免許を渡された。
それは、綺麗にラミネート加工され、紙面の右側には、私の顔写真が貼られている。
これで晴れて、私の念願だった、『物質変換師』への仲間入りを果たすこととなったのだ。

ー物質変換師ー

それは、地上にある、ありとあらゆるものを、具現化し、意のままに操ることの出来る職業。
そして、人はみな、生まれ持って、何かの属性に所属している。私の知っている限りでは、『火』『水』『土』『樹木』『雷』、そして、ちょっと特殊だけど『金属』、このくらいだろうか。
自分で、『この属性がいい』という自由は効かないのが珠にキズだけど。
そしてまだ、この他にも未知の属性がある・・・らしいのだけど、その辺はまだ、解明されてないみたい。
そもそも、この『物質変換師』というものが、職業として定着したのは、ほんの5年前、それまでは、『超能力』として、扱われていた部類のもの。この職業が出来るまでは、ふとしたキッカケで、能力を持ってしまった人達は、その力を隠し、皆と何も変わらない一般人として、振舞っていたのだ。
しかし、学者たちの、研究の進歩により、本来、備わっている属性の力を、人工的に増幅させることに成功した。

とはいえ、誰もがなることが出来るわけではなく、その、増幅カテゴリに適合した人のみが、こうやって、私みたいに、『物質変換師』として、認定されるのだ・・・。

「・・・さん、お姉さん！」

思いにふける私の思いを遮るように、さっきのＹシャツの男性が私を呼んでいた。不意打ちともいえる、呼びかけに咄嗟（とっさ）に反応できずに

「ふっ・・・ふぁい？」

まの抜けた返事を返すと、男性は、少し呆れた顔をしながら、一枚の紙キレを差し出しつつ、私に言った。

「すみませんが、物質変換師として、名乗る名前を登録してもらえませんか？後ろがつかえてますんで。」

そうだった、物質変換師として、活動する時には、本名は使えない、何故だかわからないけど、何でも大人の事情だそうだ。

そういえば、私が通っていた訓練校の先生にもクギを刺されていたんだったっけ

『アナタ、ちゃんと変換師として名乗る名前を考えておきなさいよ、おざなりにつけたら後で後悔することになるからね』

「あ・・・えーと・・・。」

そう言いかけたところで

「一応ですが、言っておきますが、変にウケを狙った名前や、卑猥な表現を含む名前、例えば『ち×ぽこ』とかですね、それと、『あぁあぁ』とか、おざなりな名前は、控えて下さい、間違いなく、後悔することになりますよ。」

彼には、私のことが、よほど変な人間に見えているのか、いたって事務的な口調で、いらない心配をしてきた。

私だって、変換師になったことで、ちょっとは有頂天になっていたものの、そんな常識知らずではない。

そんな彼の態度に、少し苛立ちを覚えつつ、差し出された紙に、これから私が名乗る名前を描いた

『リステル＝カベルネ』

□■□

「うーん、やっと終わったわ～。」

役所を一歩出たところで、大きく伸びをした。

かれこれ半日以上かかった、手続きもやっと終わった、とはいえ、これで終わりではない。

晴れて、変換師になったとはいえ、仕事を見つけないことには、ただの自宅警備員、無職と何ら変わりはないのだ。

「まずは・・・変換師の集まるギルドに行かないとね。」

そう、呟き、街道を走る馬車を止めた。

ＰＤＦ小説ネット発足にあたって

ＰＤＦ小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は２００７年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にＰＤＦ形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのＰＤＦ小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能（たんのう）してください。

この小説の詳細については以下のＵＲＬをご覧ください。
http://ncode.syosetu.com/n9618x/

草を生やしておくんなまし。

2011年10月27日02時18分発行